

「大湯環状列石JOMON体感促進事業」を含む補正予算など、原案のとおり可決

令和3年第3回定例会を5月14日から6月4日までの22日間の日程で行い、市長より報告3件、議案11件が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決し、議員提出議案3件についても、原案のとおり可決しました。

主な議案の審議内容

令和3年度鹿角市一般会計補正予算(第4号)

質問 大湯環状列石JOMON体感促進事業について、文化庁のリビングヒストリー促進事業として3年間のプログラムが採択されたが、その事業内容は。

答弁 文化財が観光の一つになるよう、体験プログラムを組み込んだツアーを旅行商品化し、その収益を文化財へ再投資することを目的とした事業である。

をテーマとし、当時のまつりを検証しながら体験するモニターツアーを実施したい。3年目は「食」「まつり」の体験プログラムに加えて、当時の大湯環状列石の姿をリアルに体験できる映像等の作成を予定している。

質問

コロナ禍の経済的な理由などから「生理の貧困」を支援するとのことだが、その周知方法や配布の仕方は。

答弁

市長の定例会見で周知したほか、市民向けメール配信、公共施設へのチラシの配布や掲示により周知を行う。また、各種社会福祉団体等を通じて潜在化している方にも周知する。

2年目は「まつり」

1年目は「食」をテーマとし、土器作りや土器で煮炊きする体験、モニターツアーを実施する。

- 監査委員 宮野和秀氏
- 教育委員会委員 (議会選出) 田中喜昭氏(再任)
- 固定資産評価審査委員会委員 馬淵大三氏(再任)

性職員が多く配置されている窓口で、紙袋に入れて渡すなどの配慮を考えているが、随時改善しながら対応していく。



議会へ提出された

請願・陳情

令和3年第3回定例会では、請願1件、陳情1件を審査しました。審査結果については、次ページに掲載しています。

議会から

関係機関への意見書

6月4日の本会議に

において、議員より提出された意見書2件について、原案可決し関係機関へ提出しています。

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

《提出理由》新型コロナウイルスの出現により地方自治体には新たに多くの行政需要が発生し、あらゆる課題に即時の対応が求められている。それと同時に従来からの行政サービスに対する需要もこれまで以上に高まりつつあるが、公的サービスを提供する職場実体にある中、近年多発している大規模災害、また、デジタル・ガバメント化への対応も迫られている。

2022年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見